



●株式会社一鶴

所在地 丸亀市土器町北二丁目 74 番地
業種 飲食サービス業
事業概要 テーマレストラン「骨付鳥 一鶴」
の経営
従業員数 228 人（男性 146 人、女性 82 人）
育児休業取得期間 R2 年 6 月に 16 日間取得

昨年度の取材記録では本社社屋の写真でしたが、今回は育児休業を取得された従業員が勤められている中府店の写真を掲載します

※前回の取材記録はこちら

<https://www.city.marugame.lg.jp/itwinfo/i31673/file/ikkaku.pdf>

【今回のインタビューは、中川マネージャーにお願いしました】

○昨年度に引き続き、男性社員の育休取得ですが

これからの時代、会社としてきちっと生活と仕事の両立に取り組んでいかないと、人手不足問題のケアができないと考えています。この考え方は、働き方改革、仕事と家庭の両立などに取り組んでいる会社トップの意思として、我々管理職全員に広がっています。一鶴として初の男性育休の取得となった昨年度（上記、前回の取材記録参照）、私は、土器川店の店長をしていました。このとき、窯場の主力社員から育休取得の相談を受けたのですが、「是が非でも育休はとってもらおう」と強い信念で取得してもらいました。あれから市外にある店舗社員や、店長代理の社員も育休取得し、男性社員の育休取得というのが、一鶴の風土として軌道に乗ってきていると感じています。

今回、取得した社員は、私が土器川店の店長をしていた時期の店舗社員ですが、定期的な異動で今年 3 月末、中府店に移りました。このとき自分も異動になったのですが、彼の育休希望（6 月頃）を知っていたので、中府店店長に引き継ぎとして「（育休がとれるよう）よろしくお願いします。」と伝えたことを憶えています。



●屋上芝生の手入れ。中川マネージャーも手伝われているそうです

○今回、育児休業を取得した社員さんについて

取得された社員にお子さんは 6 人おいでます。5 人目のときは出産時に数日休暇を取得したぐらいでしたが、今回は、本当に育休取得が必要という状態だったと思います。取得したいと考えられたのは、当時一緒に働いていた土器川店の育休取得した先輩の存在や次世代育成支援『くるみん』取得に向けた社の取り組み（育休支援案内のチラシ作成、店長会議での制度説明

からの社員への情報共有など)が影響しているものと思います。

もともと、お子さんが5人おいでたので、日ごろから家事育児の分担もされており、育休取得したときは、しっかり戦力にもなったと思います。聞くとところによると、「育児休業しているときは大丈夫だったが、育休復帰してからのほうが家は大変」と言っているそうです。

今、育休復帰をしています。なにかあればみんなでフォローして、家の対応ができるよう店長をはじめスタッフ全員で考えているようです。

○制約のある人たちでも働き続けられることについて意識されるきっかけは？

土器川店の店長時代、短期間ですが突発的に自分が子どもを看ないといけない事態になりました。このとき店長代理に事情を説明し、店舗がどんな状況でも家から連絡があれば駆けつけられるようにフォローしてもらえました。この経験から、フォローしながら働くことの大切さを実感し、それができる立場であれば自然に実践できる、今の行動につながっていると思います。

また、トップの理解、現場の協力のおかげで会社の風土になりつつある、男性社員の育休取得=残った社員の人材育成にもつながっているものと考えます。

○ワーク・ライフ・バランスの必要性について

男性が育休をとって何もしないのでは、育休の意味がない。家事に関しては特にいろいろなお助け商品もあるので、家事ができないと言うのではなく、まずはやってみればと思います。自分自身もそんなにできるとは思っていませんが、この間、夕飯の準備をしたうえで夜の飲み会に行きましたよ。

○ワーク・ライフ・バランス推進、働きやすい職場環境づくりのために行政からどのような支援があったらいいと思うか

私の所属する部署の女性スタッフに現在、管理職がいません。育休取得し現場復帰もできていますが、復帰後どう働いてもらうのがいいのか、そこからどう人材育成につなげられるのか模索中です。また、結婚退職もあるので、再就職や再雇用に対する支援があっても良いのではないのでしょうか。

(取材を終えての感想)

昨年度末に取材をして半年もたないうちに、男性社員の育休取得者を4人輩出した一鶴さん(大阪の店舗でお二人取得されたそうです)。今後、制約ある社員でも働き続けられる職場環境を第一にマネジメントされるこの姿勢は、参考にしていただきたい素晴らしい事例だと思います。他事になりますが、1枚目の中川マネージャーの写真。取材で通された部屋から見えた社屋屋上の芝生が素敵だったので、こちらで撮らせていただきました。実は、前回インタビューに応じていただいた伊藤部長が手入れされているとのこと。もう一面、屋上広場があるそうで、そちらは社長さんが手入れされているそうです。気持ちよく働く環境づくりのため経営者・管理職自らが行動するこのエネルギーは是非見習いたいと感じ入りました。